

第 7 回匿名データ作成方法ワーキンググループ

貸金構造基本統計調査の  
匿名データ作成の検討について (案)

# 各項目に適用する匿名化の方法について

---

## ●地域

- 2区分（3大都市圏、3大都市圏以外）で整理

## ●年齢

- 若年層（24歳以下）でのグルーピング、各歳、トップコーディング

## ●数量（金額・時間・日数・年数）

- 実労働時間数関係、勤続年数

- 給与額関係

（決まって支給する現金給与額、超過労働給与額、昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額、初任給額等）

- ボトムコーディング、トップコーディング

- ラウンディングの必要性

## ●職種

- （大分類相当で）グルーピング

## ●事業所一連番号

- 事業所自体及び同一事業所内データであることを特定されるリスクを避けることを前提

→ 提供しない

# 外部情報について

## ● 外部情報との照合で注意が必要な項目

- 「地域」→2区分
- 「産業分類」→大分類（要注意：C 鉱業，採石業，砂利採取業）
- 「企業規模」→グルーピング（3区分？）
- 「職種番号」→グルーピング（大分類相当）
- 「役職」→「性別」とのクロスした上での確認

## ● 一般に公開されている情報

### ➢ 統計調査の公表結果（母集団情報）

- 経済センサス-基礎調査
- 経済センサス-活動調査

### ➢ 財務三表

- ①損益計算書、②貸借対照表、③キャッシュ・フロー計算書

### ➢ 会社四季報

- ①業種、②社名・事業内容・本社事業等、③記事、④業績、⑤業績修正変化記号、⑥配当、⑦株主、⑧役員・連結会社、⑨財務、資本異動・株価・格付、⑩株価チャート、⑪株価指標

### ➢ 各社のHP

- ①会社概要・企業情報
  - ✓ 会社名、代表取締役社長の氏名、創立、資本金、株主、主な事業内容、役員数、従業員数、組織図、事業所・支店・支社、主要取引銀行、連結業績、住所、代表番号、アクセス
- ②採用情報（総合職・一般職、パート・アルバイト、薬剤師等資格保有者の別）
  - ✓ 募集職種、応募資格、勤務地、勤務時間、休日休暇、初任給、諸手当、賞与、昇給、定年、社員寮・社宅、その他福利厚生

## ● 利用者が他の公的統計の調査票情報とリンクさせ、調査客体の特定に至る可能性があるもの

- 経済構造実態調査、工業統計調査、法人企業統計調査 等

# 外部情報と照合方法について

## ●照合の方法（前スライドの下線のある項目等）

### ➤ 経済センサスの公表結果

- 地域、産業分類、企業規模で照合
- 経済センサスの公表結果より、母集団一意二意の確認
- 該当レコードを削除

### ➤ 財務三表

- 賃金構造基本調査の調査項目にないため、照合の対象としない

### ➤ 会社四季報

- 地域を2区分の場合、特定のリスクは低い
- 業種、事業内容（産業の関係のみ）で照合
- 対象としない

### ➤ 各社のHP

- 地域を2区分の場合、特定のリスクは低い
- 初任給、諸手当、勤務時間、（募集）業種、**事業内容、役員数、従業員数**で照合
- （提供する区分で）分布を確認（特異値） → 該当レコード削除

## ●他の公的統計

### ➤ 調査票情報と同様、利用者に対して、注意事項で周知

## ●その他

- 外部情報との照合で注意が必要な項目について、利用者自身が所有している独自情報との照合された際のリスクについての検討（行う場合は匿名化処理された後）  
（例：項目と顧客情報を照合された場合のリスクを想定し、匿名化処理を検討）

# 今後について

---

## ●次回の作成方法WG（第8回）

### ➤日時

- 3月上旬以降を予定

### ➤議題

- リサンプリング
  - ✓ どのような方法で行うか
- 各項目に適用する匿名化の方法
  - ✓ 度数表、クロス表等の状況により匿名化方法の処理を検討

※状況に応じて、度数表等の再作成を行い、再検討を行う